



2023年3月15日

報道関係各位

銚子信用金庫

「令和4年度 地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」の表彰について

銚子信用金庫（銚子市双葉町5番地の5、理事長：森山 博志）は、2023年3月13日（月）、「人口減少が進むエリアでの廃校の有効活用」としての取組が、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局が認定する「地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」に選定され、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）より表彰されましたのでお知らせいたします。

本表彰は、全国の金融機関等の取組のうち、地方創生の深化に向け金融機関の主体的かつ地域への効果が高い取組を表彰するものです。令和4年度は、約1,000件の取組報告のうち、当金庫の取組を含む25事例が表彰されました。

【受賞内容】

事業名：人口減少が進むエリアでの廃校の有効活用

取組概要：東庄町では、2020年3月末に町内5小学校が1校に統廃合されました。旧神代小学校・旧石出小学校跡地利用事業者に対し、地元企業とのビジネスマッチング・専門家派遣・販路拡大支援等を行うことで、産業振興や雇用の創出につながる取組となりました。

当金庫はこれからも、地域に根差した地域金融機関として、お取引先企業および地域経済の持続的な成長と発展のため、信用金庫ならではの活動を粘り強く続けてまいります。

以上

本プレスリリースについてのお問い合わせは、下記の担当までお願いいたします。

銚子信用金庫 地域サポート部（担当：穴澤）

〒288-8686 千葉県銚子市双葉町5番地の5

Tel：0479-21-5522 Fax：0479-24-4591 e-mail：eisui04@choshi-shinkin.co.jp

【オンライン表彰式の様子】



【表彰式後】



(左より、森山博志理事長、下谷享由東庄支店長)

●.「人口減少が進むエリアでの廃校の有効活用」

(銚子信用金庫)

1. 取組の概要

- ・東庄町で廃校となった小学校の活用に向け、地元企業・団体への情報提供・ビジネスマッチング・資金繰り支援等を通じ、廃校での開業を支援し、地域課題の解決及び雇用の創出に繋がる取組。

2. 取組を始めるに至った経緯、動機等

- ・人口減少や少子高齢化の著しい東庄町では、2020年3月末にて町内5小学校が1校に統廃合された。廃校の有効活用を町の総合計画の重点政策とし、廃校校舎活用事業者の公募が行われた。
- ・介護・福祉事業を展開するプリーズによる旧神代小学校跡地での「有料老人ホーム」「通所介護」(新規事業)、「訪問介護看護」(既存事業)が採択されたが、メイン行からスムーズな資金調達を行うことができず、これまで取引のなかった当庫への相談に至った。
- ・東庄町出身者を中心に活動するオンラア未来会議は従前より廃校を活用したイベントを手掛け、当庫はその活動に関心を持っていた。同町が地方創生テレワーク交付金の対象地域に指定されたため、同法人代表者に同補助金の活用を提案した結果、同法人が旧石出小学校校舎の一部をコワーキングスペースとして整備して開業。
- ・両社の事業内容は社会貢献性が強く、地域金融機関として当庫で取り組む意義は非常に大きいものと考えた。

3. 具体的な取組内容

- ・プリーズの事業資金調達に際し、政策公庫・保証協会・他行を絡めた協調融資のスキームを検討・提案し、関係者との調整を全て当庫で実施。
- ・オンラア未来会議には、中小企業診断士を紹介し、補助金の申請支援を行ったほか、精度の高い事業計画を作成するために中小企業診断士の活用を提案。中小企業診断士の支援により完成した事業計画を参考に、当庫にて融資を実行。

4. 実施にあたり工夫した点(金融機関の役割・推進体制面・PDCAサイクル面等)

- ・町の所有物を賃貸するため担保設定不可(無担保融資)であったが、SWOT分析を活用した事業性評価を実施し、必要な資金確保等を支援。
- ・プリーズには、当庫の取引先である地元建設業者を紹介。他業者よりコスト削減となり、両社にとってメリットのあるビジネスマッチングが成立。
- ・オンラア未来会議に対し、事業計画の作成に向けた中小企業診断士とのヒアリングに当庫が全て同席することで、事業に対する理解が深めることができ、共通価値が生まれた。また、開業に向けては、建設業者や清掃業者などとのビジネスマッチングをサポートし、6件が成約。

5. 取組の成果(取組中の場合は目標値・KPI等)

- ・東庄町において廃校活用の第1・2号案件となったほか、人口減少が進む他地域でも活用できるビジネスモデルを確立することができた。
- ・旧神代小学校での介護施設は、2022年2月のオープン当初より全46室が満室。近隣市からの移住者もあり、人口増加に寄与。また、都内からも問い合わせがあるなど、キャンセル待ちの応募も多数。
- ・旧石出小学校では、2022年4月から開設したコワーキングスペース「ハタラキバ」の利用状況が良好に推移。利用者にはテレワークによる移住者2名も含まれている。また、校内の一部にカフェをオープンし、5事業者が日替わりで営業。飲食店のチャレンジショップとしての役割を果たしている。

6. スキーム図等

東庄町

【重点政策】

- 廃校活用
- 産業振興
- 雇用創出

賃貸契約



廃校活用



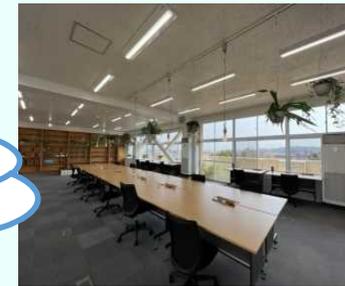
介護施設

住宅型老人ホーム・デイサービスを展開
教室を居室・食堂・デイルームなどに使用



コワーキングスペース

作業室・会議室・休憩室のほか
シェアオフィス・カフェなど幅広く展開



銚子信用金庫

【経営サポート】

- ビジネスマッチング
- 専門家派遣
- 補助金申請
- 販路拡大支援

提案

